

106. 本邦におけるCOVID-19感染患者治療の疫学的調査

研究の概要

2019年12月、中華人民共和国の湖北省武漢市で新型ウイルスによる肺炎の集団発生が報告されました。このウイルスは新型コロナウイルスとして、COVID-19と称されています。COVID-19による感染は世界的に流行し、WHOでは2020年1月30日に緊急事態宣言を行い、3月11日にはパンデミックの宣言を行いました。世界的には中国以外にも感染患者が拡大し、欧米諸国をはじめ、3月24日時点で感染者数は30万人、死亡者数は14000人を超え、感染者の人数は日々数万人を超えるペースで増加しています。一方、本邦では1月16日に初めて患者が報告され、2月1日に指定感染症に指定されました。現在（3月24日時点）、本邦でのCOVID-19感染が確認された患者は1000人を超え、死亡者数は40人を超えています。この新規ウイルスによる感染症にはまだ確立された治療方法がなく、現在行われている治療は、これまでの他ウイルス疾患や肺炎などの治療の経験に基づくところが大きく、本感染の疫学的検討や治療方法に関するデータの集積・解析が、今後のCOVID-19感染症治療の確立には急務です。本研究は、本邦におけるCOVID-19感染症にかかる臨床データ・治療内容を後方視的に解析し、病態解明、治療法開発の一助とすることを目的としております。また、本研究は、全国の多施設でのデータを収集して行い、本邦独自の疫学的評価を行うことを目的としています。

研究の目的と方法

本研究は、COVID-19と診断された患者様の診療録の情報をを用いて、専ら集計や、簡単な統計処理を行う研究です。研究に用いるデータは、COVID-19感染患者の年齢・性別・基礎疾患などの背景、COVID-19治療に関するデータ等であり、個人を特定可能な情報は解析に用いませぬ。データは研究責任施設である広島大学に送付されますが、個人情報には削除および匿名化された状態で送付されます。

本研究の参加について

本研究への参加・不参加に関わらず、利益・不利益を生じることはありません。個人を特定可能な情報は解析には使用されず、データは個人情報を削除し、匿名化した状態で取り扱います。本研究への不参加をご希望の方は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

調査する内容

患者背景、CTやX線などの画像、バイタルサイン、治療内容、血液検査・培養検査などの結果、転帰・入院期間などを調査します。

調査期間

研究対象期間：2020年1月1日～2025年3月31日

研究実施期間：倫理委員会承認後～2026年3月31日

研究成果の発表

研究代表者は、研究終了後研究の成果を公表します。

研究代表者

広島大学大学院医系科学研究科 救急集中治療医学教授 志馬伸朗

当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 救命救急センター長 原田正公

問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター 救命救急センター長 原田正公

TEL: 096-353-6501